

ふしのがわかこういき・ひがたしぜんさいせいきょうぎかい 榎野川河口域・干潟自然再生協議会

再生 目標

人が適度な働きかけを継続することで、自然からのあらゆる恵みを持続的に享受できる場、「里海」を再生する。



榎野川河口域から山口湾においては、344haの広大な干潟が広がり、クロツラヘラサギなどの様々な鳥類の餌場・休息場、カブトガニの生息場になっており、「日本の重要湿地500」にも選ばれている全国的にも重要な地域です。

しかし、浮泥の流入、カキ殻の堆積、干潟の硬質化・無機質化、アマモ場の激減、アサリの壊滅など、干潟生態系の改変・改質が生じています。

このため、榎野川河口域・干潟の自然環境を再生し、維持していくための取組を進めています。

自然再生の手法

- カキ殻の粉碎などによる底質環境の改善
- 科学的な分析・評価による干潟への働きかけ
- 再生活動が持続される体制づくり

干潟等での活動



干潟耕耘作業



アサリ再生活動



海岸清掃



生き物観察会



潮干狩り体験



カブトガニ（幼生）

- 協議会事務局
山口県自然保護課、山口市環境政策課他
- 対象地域
山口県山口市
（周防灘の山口湾に流入する榎野川河口干潟等）
- 構成員数：62人
- 協議会：H16. 8. 1 設立
- 全体構想：H17. 3. 31 策定
- 実施計画：検討中

(H31. 4現在)